

大学番号：私095

注3

[平成25年度設置]

計画の区分：学部の学科設置

注1

届出

敬愛大学 経済学部 経営学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 千葉敬愛学園
平成26年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	修学支援室
職名・氏名	修学支援室長 加藤 茂夫
	<small>シユウガクエンシツチョウ カトウ シゲオ</small>
電話番号	043-251-6363
（夜間）	043-251-6363
F A X	043-251-6407
e-mail	katou@u-keiai.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部(平成◇◇年度より変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 千葉敬愛学園

(2) 大学名

敬愛大学

(3) 大学の位置

〒263-8588

千葉県千葉市稲毛区穴川一丁目5番21号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(サンペイトシオ) 三幣利夫 (平成25年4月)		
学長	(サンペイトシオ) 三幣利夫 (平成24年6月)		
学部長	(ナカヤマユキオ) 中山幸夫 (平成23年4月)		
学科長等	(アオキヒデカズ) 青木英一 (平成25年4月)		経営学科設置による 平成25年4月(25)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)
平成26年度に報告する内容 → (26)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経済学部 経営学科 学士(経営学)	4年	110人	年次 1人 2年次 3人 3年次 3人	455人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	225人 (-) [-]	0人	225人 (6) [-]								0.84倍	経済学科、経営学科の学科選択は、2年次進級時とするため学部合計での定員超過率で計算。
志願者数	317 (7) [52]	0 () []	295 (4) [20]	(-) () [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	312 (6) [51]	0 () []	289 (4) [20]	(-) () [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	305 (6) [44]	0 () []	287 (4) [16]	(-) () [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	194 (5) [40]	0 () []	188 (4) [16]	(-) () [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	0.86		0.83									

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[]	[]	[]	[]	[40] 194	[]	[15] 187	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[33] 177	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	
計	[]	[]	[]	[]	[40] 194	[]	[48] 364	[]	

- (注)
- ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	人	0人	平成23年度	人	人		#DIV/0! %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	人	0人	平成24年度	人	人		#DIV/0! %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	194人	19人	平成25年度	16人	6人	「就職(4人)」「修学意欲の低下(2人)」「除籍(5人)」「その他(5人)」	9.8% %
			平成26年度	3人	2人	「除籍(3人)」	
平成26年度 入学者	188人	1人	平成26年度	1人	1人	「その他(1人)」	0.5% %
合計	382人	20人					5.2% %

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<経済学部 経営学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	文章表現	1前	2								兼1	講座内容の変更により、教員を1名追加(25) 追加担当 土井修教授(兼任) 高木准教授、教授に昇格(26) 平成26年1月21日 教員審査済 判定 可 専任教員採用により、担当者追加(26) 担当 藪内正樹(教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可 担当 高岡英氣(准教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可 藤田教授、畢教授辞任(2名)により、担当者変更 既存教員内で対応(25) 専任教員採用により、担当者変更(26) 担当 高岡英氣(准教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可 藤田教授辞任により、担当者変更(25) 担当 福川裕司(兼任講師) 平成25年3月12日 教員審査済 判定 可
	口頭表現	1後	2								兼1	
	基礎数学	1前	2								兼1	
	入門経済学	1前後	2								兼12	
	入門経営学	1前後	2			7						
	キャリアプランニング	1前	2			5	1		2			
	健康科学	1前後	2			7						
	情報基礎 I	1前	1			7	2					
	情報基礎 II	1後	1									
	小計(9科目)			16			7	1	2			
言語科目	英語 I	1前	1								兼5	講師の担当コマ数事情により、教員を追加(26) 担当 芳賀 理彦(講師・兼任) 講師の担当コマ数事情により、教員を追加(26) 担当 芳賀 理彦(講師・兼任) 講師の担当コマ数事情により、教員を追加(26) 担当 芳賀 理彦(講師・兼任) 講師の担当コマ数事情により、教員を追加(26) 担当 芳賀 理彦(講師・兼任)
	英語 II	1後	1								兼4	
	英語 III	2前	1								兼5	
	英語 IV	2後	1								兼4	
	小計(4科目)		4								兼5 兼4	
	中国語 I	1前		1			1				兼1	
	中国語 II	1後		1			1				兼1	
	中国語 III	2前		1			1				兼1	
	中国語 IV	2後		1			1				兼1	
	日本語 I	1前		1							兼2	
日本語 II	1後		1							兼2		
日本語 III	2前		1							兼2		
日本語 IV	2後		1							兼2		
小計(8科目)			8			1					兼4	

教養科目	敬天愛人講座	1・2・3・4前後	2						兼9	前年度の履修者数に応じたコマ増(26)
	敬愛プログラム	1・2・3・4	2						兼11 兼1	講座担当の変更により、教員を追加(25)
	スポーツ教育 I	1・2・3・4前	1		+				兼1	藤田教授辞任により、担当者変更(25) [担当 福川裕司(兼任講師) 平成25年3月12日 教員審査済 判定 可
	スポーツ教育 II	1・2・3・4後	1		+				兼1	藤田教授辞任により、担当者変更(25)
	哲学	1・2・3・4前	2						兼1	[担当 福川裕司(兼任講師) 平成25年3月12日 教員審査済 判定 可
	心理学	1・2・3・4前	2		1					
	社会心理学	1・2・3・4後	2		1					
	歴史学	1・2・3・4前後	2							
	法学	1・2・3・4後	2						兼1	前年度の履修者数に応じたコマ増(26)
	憲法 I	1・2・3・4前	2						兼1	前年度の履修者数に応じたコマ増(26) 山内講師辞任により、担当者変更(25) 担当 覚正豊和教授(兼任)
	憲法 II	1・2・3・4後	2						兼1	山内講師辞任により、担当者変更(25) 担当 覚正豊和教授(兼任)
	政治学	1・2・3・4後	2						兼1	
	日本の政治	1・2・3・4前	2						兼1	
	社会学	1・2・3・4前	2						兼1	
	数学 I	1・2・3・4前	2						兼1	
	数学 II	1・2・3・4後	2						兼1	
	統計学 I	1・2・3・4前	2						兼1	
	統計学 II	1・2・3・4後	2						兼1	
	環境科学	1・2・3・4後	2						兼1	
	総合科目 I「国際社会を知る	1・2・3・4前	2						兼3	前年度の履修者数に応じたコマ増(26) 総合科目 I から IIへ担当者変更(25) 総合科目 II から Iへ担当者変更(25) 総合科目 II 異講師辞任により、担当者変更(25) [担当 吉村貴之(兼任講師) 平成24年10月16日 教員審査済 判定 可
総合科目 II「国際社会を知る	1・2・3・4後	2						兼3		
地域ボランティア活動	1・2・3・4後	2						兼1		
小計(22科目)			42		1 2				兼23 兼26	
情報科目	情報概論	1・2・3・4後 未開講	2						兼1	
	アルゴリズム論	2・3・4前	2		1					履修希望者がいなかったため(26) 専任教員が担当(26) 担当 森島隆晴(教授) 担当者変更(25)
	Excelデータ解析	2・3・4前	2						兼1	担当 井手雅哉(兼任講師)
	プログラミング入門(VB)	2・3・4前	2						兼1	
	VBプログラミング	2・3・4後	2						兼1	
	データベースオペレーション	2・3・4後	2						兼1	
	プレゼンテーション論	2・3・4前	2						兼1	
		2・3・4前								
	情報システム論	未開講 2・3・4前	2		1					通常開講(26) 平成26年度より科目統合のため、旧科目名開講 (現名称、ハードウェアシステム論、OS論、ネット ワークシステム論を情報システム論へ統合)(25)
	情報セキュリティ論	2・3・4後	2		1					
データベース論	未開講 2・3・4後 2・3・4前	2		1					履修希望者がいなかったため(26)	
シミュレーション論	未開講 2・3・4前	2		1					通常開講(26) 対象学年が該当しないため、休講(25)	
小計(11科目)			22		1				兼3 兼4	
キャリア科目	実践会話 I	2前	2						兼1	
	実践会話 II	2後	2						兼1	
	キャリア基礎開発 I	2前	2						兼1	
	キャリア基礎開発 II	2後	2						兼1	
	キャリア基礎開発 III	2後	2						兼1	
	キャリアデベロップメント	3前	2						兼1	
キャリア教育特殊講義	3後	2						兼1		
小計(7科目)			14						兼2	
演習科目	基礎演習 I	1前	1		5 3	2 1	0 2			担当コマの関係により、担当者変更(26) 担当コマの関係により、担当者変更(25)
	基礎演習 II	1後	1		5 3	2 1	1 2			担当コマの関係により、担当者変更(26) 担当コマの関係により、担当者変更(25) 担当コマの関係により、担当者変更(26)
	専門導入演習 I	2前	1		5 6	1 2	1 2			担当コマの関係により、担当者変更(25) 担当コマの関係により、担当者変更(26)
	専門導入演習 II	2後	1		5 6	1 2	1 2			担当コマの関係により、担当者変更(26) 担当コマの関係により、担当者変更(25)
					6					
	専門演習 I	3前	1		3 7	1 2	1 2			担当コマの関係により、担当者変更(26) 担当コマの関係により、担当者変更(25)

	専門演習Ⅱ	3後	1		3 7 3	1 2 2	1 2		兼1	担当コマの関係により、担当者変更(26) 担当コマの関係により、担当者変更(25) 岸本講師辞任し、兼務講師として担当(26)
	卒業演習Ⅰ	4前	1		5 7 3	0 2 2	1		兼1	担当コマの関係により、担当者変更(26) 担当コマの関係により、担当者変更(25) 岸本講師辞任し、兼務講師として担当(26)
	卒業演習Ⅱ	4後	1		5 7 3	0 2 2	1		兼1	担当コマの関係により、担当者変更(26) 担当コマの関係により、担当者変更(25) 岸本講師辞任し、兼務講師として担当(26)
	卒業論文	4後	2		5 7	0 2	1			担当コマの関係により、担当者変更(26) 担当コマの関係により、担当者変更(25)
	小計(9科目)		10		7 6 7	1 2 2			兼1	
基本 科目 A	経営学Ⅰ	1・2前	2			1				
	経営学Ⅱ	1・2後	2			1				
	簿記論Ⅰ	1・2前	2		1		1		兼1	履修者の増加により、教員を追加(25) 担当 鈴木明男教授
	簿記論Ⅱ	1・2後	2		1		1		兼1	履修者の増加により、教員を追加(25) 担当 鈴木明男教授
	小計(4科目)		8		1	1	1		兼1	
基本 科目 B	産業論Ⅰ	2・3前		2		1				
	産業論Ⅱ	2・3後		2		1				
	マーケティング論	2・3前		2		+	1			
	Marketing Management	2・3後		2		+	1			
	経営史Ⅰ	2・3前		2					兼1	専任教授辞任に伴い、金講師に変更(25) 専任教授辞任に伴い、金講師に変更(25) 白井講師辞任により、担当者変更(26) 担当 坂本旬(兼任講師) 平成25年12月10日 教員審査済 判定 可
	経営史Ⅱ	2・3後		2					兼1	白井講師辞任により、担当者変更(26) 担当 坂本旬(兼任講師) 平成25年12月10日 教員審査済 判定 可
	経営戦略論Ⅰ	2・3前		2			+		兼1	岸本講師辞任し、兼務講師として担当(26)
	経営戦略論Ⅱ	2・3後		2			+		兼1	岸本講師辞任し、兼務講師として担当(26)
	ベンチャービジネス論	2・3後		2					兼1	
	流通論	2・3前		2		+		1		
	経営組織論Ⅰ	2・3前		2		1	+			
	経営組織論Ⅱ	2・3後		2		1	+			
	経営分析Ⅰ	2・3前		2				1		
	経営分析Ⅱ	2・3後		2				1		
	原価計算論Ⅰ	2・3前		2					兼1	
	原価計算論Ⅱ	2・3後		2					兼1	
	経営財務論	2・3前		2					兼1	
マーケティング・リサーチⅠ	2・3前		2		1		+			
マーケティング・リサーチⅡ	2・3後		2		1		+			
人的資源管理Ⅰ	2・3前		2				1			
人的資源管理Ⅱ	2・3後		2				1			
管理会計論	2・3前		2				1			
	小計(22科目)		44		3 +	0 2	2		兼5 兼4	
コ ー ス 科 目	アジアビジネス実習	未開講 3前	2		2		1	1		
	アジアビジネス論	2・3・4前		2				1		対象学年が該当しない為、開講せず(26) 対象学年が該当しない為、開講せず(25) 専任教員採用により、担当者変更(26) 担当 藪内正樹(教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可
	中国ビジネス論	2・3・4前		2		+			兼+	専任教員採用により、担当者変更(26) 担当 藪内正樹(教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可
	経営立地論	2・3・4前		2		1				専任教員採用により、担当者変更(26) 担当 藪内正樹(教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可
	アジアの工業立地	2・3・4後		2		1				専任教員採用により、担当者変更(26) 担当 藪内正樹(教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可
流通経営論	未開講									通常開講(26) 専任教員採用により、担当者変更(26) 担当 藪内正樹(教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可
流通経営論	2・3・4前		2		+					専任教員採用により、開講せず(25) 専任教員採用により、担当者変更(26) 担当 藪内正樹(教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可
中国の流通産業	2・3・4後		2		+			兼+	専任教員採用により、開講せず(25) 専任教員採用により、担当者変更(26) 担当 藪内正樹(教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可	
情報マネジメント	2・3・4前		2		1					専任教員採用により、開講せず(25) 専任教員採用により、担当者変更(26) 担当 藪内正樹(教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可

国際経営論	2・3・4前 2・3・4後 未開講	2						兼1	通常開講(26) 担当 織井啓介(教授・兼任) 阿部講師辞任に伴い、開講せず(25)	
国際貿易論	2・3・4前	2						兼1	野澤講師辞任により、担当者変更(25)	
国際法Ⅰ	2・3・4後	2						兼1	担当 庄司真理子(教授・兼任)	
国際法Ⅱ	2・3・4前	2						兼1		
アジアの地理	2・3・4前	2		1						
アジアの歴史と社会	2・3・4前後	2						兼1	前年度の履修者数に応じたコマ増(26)	
	2・3・4前 未開講								通常開講(26)	
中国語検定講座Ⅰ	2・3・4	1					1			
中国語検定講座Ⅱ	2・3・4後	1					1			
	2・3・4前 未開講								通常開講(26)	
日本語検定講座Ⅰ	2・3・4	1						兼1	履修希望学生がいなかった、未開講(25)	
日本語検定講座Ⅱ	2・3・4	1						兼1		
小計(18科目)		2	30		3 2 3		1	1	兼5	
地域企業経営実習	未開講 3前	2		2		1	1		兼5	対象学年が該当しない為、開講せず(26) 対象学年が該当しない為、開講せず(25)
地域企業経営論	2・3・4前	2							兼5	鈴木教授辞任により、担当者変更(26) 担当 平屋 伸洋(講師) 担当者変更(25) 担当 鈴木明男教授
会計学Ⅰ	2・3・4前	2		±			±		兼5	鈴木教授辞任により、担当者変更(26) 担当 平屋 伸洋(講師) 担当者変更(25) 担当 鈴木明男教授
会計学Ⅱ	2・3・4後	2		1			±		兼5	鈴木教授辞任し、兼務教員として担当(26) 担当 鈴木明男教授
税務会計論Ⅰ	2・3・4前	2		±				兼1	兼1	鈴木教授辞任し、兼務教員として担当(26) 担当者変更(25) 担当 鈴木明男教授
税務会計論Ⅱ	2・3・4後	2		±				兼1	兼1	鈴木教授辞任し、兼務教員として担当(26) 担当者変更(25) 担当 鈴木明男教授
中小企業論Ⅰ	2・3・4前	2				±		兼1	兼1	岸本講師辞任し、兼務講師として担当(26)
中小企業論Ⅱ	2・3・4後	2				±		兼1	兼1	岸本講師辞任し、兼務講師として担当(26)
企業法	2・3・4後	2		1						
会社法	2・3・4前後	2		1						
経営立地論	2・3・4前	2		1						
地域産業論	2・3・4後	2		1						
企業経営と心理学	2・3・4前	2		1						
観光事業論Ⅰ	2・3・4前	2						兼1	兼1	
観光事業論Ⅱ	2・3・4後	2						兼1	兼1	
サービス産業論	2・3・4前	2					1			
地域企業会計論	2・3・4前	2						兼1	兼1	
民法Ⅰ	2・3・4前	2						兼1	兼1	
民法Ⅱ	2・3・4後	2						兼1	兼1	
小計(19科目)		2	36		5 4	1 2		2	兼10 兼8	
スポーツビジネス実習	未開講 3前	2		1 2		1			兼1	対象学年が該当しない為、開講せず(26) 対象学年が該当しない為、開講せず(25) 通常開講(26) 担当 福川裕司(兼任講師) 教員資格審査対象済者
スポーツ科学概論	2・3・4前 未開講 2・3・4前	2		±					兼1	藤田教授辞任に伴い、開講せず(25) 専任教員採用により、担当者変更(26) 担当 高岡英氣(准教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可
生涯スポーツ実習Ⅰ	2・3・4前 未開講 2・3・4前	2		±		1			兼1	藤田教授辞任に伴い、開講せず(25) 専任教員採用により、担当者変更(26) 担当 高岡英氣(准教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可
生涯スポーツ実習Ⅱ	2・3・4前 未開講 2・3・4前	2		±		1			兼1	藤田教授辞任に伴い、開講せず(25) 専任教員採用により、担当者変更(26) 担当 高岡英氣(准教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可
スポーツビジネス論	2・3・4後	2				1			兼±	藤田教授辞任に伴い、開講せず(25) 専任教員採用により、担当者変更(26) 担当 高岡英氣(准教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可
スポーツ産業論	2・3・4前	2				1			兼±	判定 可
中小企業論Ⅰ	2・3・4前	2				±			兼1	岸本講師辞任し、兼務講師として担当(26)
中小企業論Ⅱ	2・3・4後	2				±			兼1	岸本講師辞任し、兼務講師として担当(26)
企業経営と心理学	2・3・4前	2		1						
民法Ⅰ	2・3・4前	2							兼1	
民法Ⅱ	2・3・4後	2							兼1	
企業法	2・3・4前	2		1						
会社法	2・3・前後	2		1 2						
小計(13科目)		2	24		3	1			兼2	前年度の履修者数に応じたコマ増(26)

展開科目	経済政策Ⅰ	2・3・4前		2						兼1	
	経済政策Ⅱ	2・3・4後		2						兼1	
	ミクロ経済学Ⅰ	2・3・4前		2						兼1	担当者変更(和田良子教授・兼任)(25)
	ミクロ経済学Ⅱ	2・3・4後		2						兼1	担当者変更(和田良子教授・兼任)(25)
	マクロ経済学Ⅰ	2・3・4前		2						兼1	担当者変更(仁平耕一教授・兼任)(25)
	マクロ経済学Ⅱ	2・3・4後		2						兼1	担当者変更(仁平耕一教授・兼任)(25)
	統計学総論Ⅰ	2・3・4前		2						兼1	
	統計学総論Ⅱ	2・3・4後		2						兼1	
	経済統計Ⅰ	2・3・4前		2						兼1	
	経済統計Ⅱ	2・3・4後		2						兼1	
	日本経済論Ⅰ	2・3・4前		2						兼1	
	日本経済論Ⅱ	2・3・4後		2						兼1	
	流通情報論	2・3・4前		2			1				
	企業金融論Ⅰ	2・3・4前		2						兼1	
	企業金融論Ⅱ	2・3・4後		2						兼1	
	知的財産権論	2・3・4前		2		1					
	企業と産業組織Ⅰ	2・3・4前		2		1					
	企業と産業組織Ⅱ	2・3・4後		2		1					
	消費者行動論	2・3・4前		2		1					
	労働法	2・3・4前		2						兼1	
	有価証券法	2・3・4前		2		1					
	外国経営書講読Ⅰ	2・3・4前		2			±			兼1	担当者変更(岸本太一准教授)(25)
	外国経営書講読Ⅱ	2・3・4後		2				1		兼1	担当者変更(平屋伸洋講師)(25)
	TOEIC®向上講座Ⅰ	2・3・4前		2						兼1	
	TOEIC®向上講座Ⅱ	2・3・4後		2						兼1	
各コース科目(必修は除く)											岸本講師辞任により、担当者を変更(26) 担当 坂本旬(兼任講師) 平成25年12月10日 教員審査済 判定 可
小計(25科目)				50	4	0	2		兼8		
自由選択科目	教養科目、キャリア科目、基本科目B、各コース科目、情報科目、展開科目の中から自由に履修できる。経営学科のカリキュラムに掲載されていない経済学科や国際学部国際学科の科目、ライセンスプログラム科目を履修した場合は当欄で単位認定す								兼7		
			44	270	0	7	2				
	学士(経営学)					7	3	2		兼68	
卒業要件			学位又は学科の分野								
基礎科目16単位以上、言語科目8単位以上、教養科目12単位以上、情報科目4単位以上、キャリア科目4単位以上、演習科目10単位以上、専門科目70単位以上を修得し、合計124単位以上を修得すること。			1学年の学期区分			2学期					
			1学期の授業期間			15週					
			1時限の授業時間			90分					

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
44	270	0	314	44	270	0	314	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	共有する他の学校の校地 短大 12,109 m ² 高校 34,669 m ² 校舎校地 13,827 m ² 運動場 20,842 m ²			
	校舎敷地	5,630 m ²	16,208 m ²	5,725 m ²	27,563 m ²				
	運動場用地	0 m ²	71,981 m ²	0 m ²	71,981 m ²				
	小 計	5,630 m ²	88,189 m ²	5,725 m ²	99,544 m ²				
	そ の 他	0 m ²	0 m ²	0 m ²	0 m ²				
	合 計	5,630 m ²	88,189 m ²	5,725 m ²	99,544 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	21,555 m ² (21,555 m ²)	852 m ² (852 m ²)	10,642 m ² (10,642 m ²)	33,049 m ² (33,049 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	情報処理実習施設(PC教室)を改修し、演習室に用途変更を実施した(25)			
	22 室	13 室 12 室	4 室	7 室 6 室 (補助職員 人)	2 室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	経済学部 経営学科		1 1 1 2 室						
			1 3 1 1 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学酷暑雑誌はデータベースで代用のため購入受入中止(26)	
	経済学部 経営学科	12,505 [982] (9,935 [454])	23 [7] (23 [4])	19 [2] (19 [2])	1,739 (2881)	300 (290)	()		
	計	12,505 [982] (9,935 [454])	23 [7] (23 [4])	19 [2] (19 [2])	1,739 (2881)	300 (290)	()		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			閲覧室改修に伴う座席数増(25) 書庫面積変更(26)、閲覧室改修によるぞ整数増(26)	
	2,351.8 m ²		366 -383		250,000				
	2,635.17 m ²		390		250,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,920.77 m ²		グラウンド		トレーニングルーム				
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費増2,780千円(26)
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	250 千円	250 千円	図書購入費	2,500 千円	2,500 千円	10,000 千円	
		共 同 研 究 費 等	2,000 千円	8,000 千円 8,780 千円	設備購入費	500 千円	1,025 千円	2,525 千円	
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1,270 千円	980 千円	980 千円	980 千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、寄付金等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称		敬愛大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
経済学部 経済学科	4	115	23	773	学士 (経済学)	0.72	昭和41年	千葉市稲毛区穴川	
経済学部 経営学科	4	110	3	223	学士 (経営学)		平成25年	1丁目5番21号	
国際学部 国際学科	4	90	29	474	学士 (国際学)	0.7	平成19年		
国際学部 こども学科	4	70	2	262	学士 (こども学)	1.00	平成23年		
大学の名称	千葉敬愛短期大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
初等教育科	年 2	人 150	年次 一人	人 300	短期大学士 (教育学)	倍 1.25	昭和25年	千葉県佐倉市 山王1丁目9番地	
現代子ども学科	2	200	一人	400		1.10	平成26年		

平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「一」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
- ・ 大学、短期大学においては学科単位(短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位)、大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

<経済学部 経営学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	
専	教授	ノグチ アキヒロ 野口 明宏 (67)	平成25年4月	専	教授	ノグチ アキヒロ 野口 明宏 (68)	平成25年4月	<p>企業法 会社法 有価証券法 地域企業経営実習 入門経営学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文</p> <p>企業法 会社法 有価証券法 地域企業経営実習 入門経営学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文</p> <p>地域企業経営実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(25)</p> <p>地域企業経営実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(26)</p>
専	教授	モリヤ ヒデキ 森谷 英樹 (69)	平成25年4月	専	教授	モリヤ ヒデキ 森谷 英樹 (70)	平成25年4月	<p>産業論Ⅰ 産業論Ⅱ 企業と産業組織Ⅰ 企業と産業組織Ⅱ 地域企業経営実習 入門経営学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文</p> <p>産業論Ⅰ 産業論Ⅱ 企業と産業組織Ⅰ 企業と産業組織Ⅱ 地域企業経営実習 入門経営学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文</p> <p>地域企業経営実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(25)</p> <p>地域企業経営実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(26)</p> <p>担当コマ数の事情により、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「専門導入演習Ⅰ・Ⅱ」は他の専任教員による代替措置をとった(26)</p>
専	教授	アオキ ヒデカズ 青木 英一 (70)	平成25年4月	専	教授	アオキ ヒデカズ 青木 英一 (71)	平成25年4月	<p>アジアの地理 地域産業論 経営立地論 アジアの工業立地 日本経済地理 世界経済地理 アジアビジネス実習 入門経営学 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文</p> <p>アジアの地理 地域産業論 経営立地論 アジアの工業立地 日本経済地理 世界経済地理 アジアビジネス実習 入門経営学 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文</p> <p>アジアビジネス実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(25)</p> <p>アジアビジネス実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(26)</p> <p>担当コマ数の事情により、「専門導入演習Ⅰ・Ⅱ」は他の専任教員による代替措置をとった(26)</p>
専	教授	フジタ アキオ 藤田 明男 (65)	平成25年4月			後任未定		<p>平成25年3月 藤田明男教授辞任(一身上の都合)のため「後任未定」。平成25年4月から専任教員を公募し、平成26年4月付採用。「生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ」「スポーツ科学概論」は2年生以上が対象のため、また、卒業演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文は対象学生が不該当の為、未開講。入門経営学、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、専門導入演習Ⅰ・Ⅱ、専門演習Ⅰ・Ⅱは他の専任教員による代替措置をとった(25)。</p>

				専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文					スポーツビジネス実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(25) 平成26年4月 高岡英氣准教授採用のため、「生涯スポーツⅠ・Ⅱ」、「スポーツビジネス実習」「入門経営学」「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「専門導入演習Ⅰ・Ⅱ」は担当者の変更。また、「専門演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業論文」は他の専任教員による代	
					兼任	講師	フカワ ヌウジ 福川 裕司 (37)	平成25年4月	健康科学 スポーツ教育Ⅰ スポーツ教育Ⅱ スポーツ科学概論	平成25年3月 藤田明男教授辞任のため、1年生が履修対象である「健康科学」「スポーツ教育」を平成25年度は兼任講師により担当者を変更した(25)。 「健康科学」は平成26年4月高岡准教授就任のため、担当者の変更(26) 「スポーツ科学概論」は経年で履修対象学年に到達。担当者の変更(26)
					専	准教授	タカオカ ヒデキ 高岡 英氣 (36)	平成26年4月	生涯スポーツ実習Ⅰ 生涯スポーツ実習Ⅱ 健康科学 スポーツビジネス実習 入門経営学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ	平成26年9月17日 教員審査済
専	教授	フジイ テルオ 藤井 輝男 (59)	平成25年4月	心理学 社会心理学 企業経営と心理学 消費者行動論 発達心理学(教職科目) 教育心理学(教職科目) 教育相談(教職科目) スポーツビジネス実習 入門経営学 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文	専	教授	フジイ テルオ 藤井 輝男 (60)	平成25年4月	心理学 社会心理学 企業経営と心理学 消費者行動論 発達心理学(教職科目) 教育心理学(教職科目) 教育相談(教職科目) スポーツビジネス実習 入門経営学 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	「発達心理学」「教育相談」は担当コマ数の事情により、担当者変更(26) スポーツビジネス実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(25) スポーツビジネス実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(26) 専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒業演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文は、対象学生が不該当のため、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」を担当(25) 卒業演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文は、対象学生が不該当のため、「専門演習Ⅰ・Ⅱ」を担当(26)
専	教授	ビイ トウトウ 畢 滔滔 (松井タオタオ) (42)	平成25年4月	流通論 中国ビジネス論 マーケティング論 Marketing Management 流通経営論 中国の流通産業 アジアビジネス実習 入門経営学 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文			後任未定			平成25年3月 畢 滔滔教授辞任(一身上の都合)のため「後任未定」。平成25年4月から専任教員を公募し、平成26年4月付採用。 「Marketing Management」「マーケティング論」「流通論」は金講師(専)が担当し、「流通経営論」(新規科目)は2年生以上が対象のため、未開講。入門経営学、専門導入演習Ⅰ・Ⅱ、専門演習Ⅰ・Ⅱは他の専任教員による代替措置をとつアジアビジネス実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(26) 平成26年4月 敷内正樹教授採用のため、「中国ビジネス論」「中国の流通産業」「流通経営論」「アジアビジネス実習」「入門経営学」「専門導入演習Ⅰ・Ⅱ」は担当者の変更。また、「専門演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業論文」は他の専任教員に
					専	講師	キム ジンシク 金 珍淑 (41)	平成25年4月	マーケティング論 Marketing Management 流通論	
					兼任	講師	ビイ トウトウ 畢 滔滔 (松井タオタオ) (43)	平成25年4月	中国ビジネス論 中国の流通産業 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文	平成25年度は兼任教員として、講義を一部担当(25) 専任教員採用により、担当者変更(26)
					専	教授	ヤブクチ マサキ 敷内 正樹 (60)	平成26年4月	中国ビジネス論 中国の流通産業 マーケティングリサーチⅠ マーケティングリサーチⅡ 流通経営論	平成26年9月17日 教員審査済

								アジアビジネス実習 外国経営書購読Ⅱ 入門経営学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ		
専	教授	モリシ マカハル 森島 隆晴 (53)	平成25年4月	Excelデータ解析 情報システム論 アルゴリズム論 情報セキュリティ論 情報マネジメント 知的財産権論 シミュレーション論 データベース論 アジアビジネス実習 入門経営学 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文	専	教授	モリシ マカハル 森島 隆晴 (54)	平成25年4月	アルゴリズム論 情報セキュリティ論 情報マネジメント 知的財産権論 シミュレーション論 データベース論 アジアビジネス実習 入門経営学 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ OS論 ハードウェアシステム論 ネットワークシステム論 Excelデータ解析 情報システム論 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 敬天愛人講座※	科目統合(OS論・ハードウェアシステム論・ネットワークシステム論、以上3科目を情報システム論へ)、平成26年度に実施するため、「情報システム論」は2年生より履修対象。「Excelデータ解析」は、井手(兼任)講師が臨時的に担当。シミュレーション論、専門演習Ⅰ・Ⅱは履修希望者がいないため、未開講(25)。 アジアビジネス実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(25) 「OS論」「ハードウェアシステム論」「ネットワークシステム論」以上3科目を統合し、「情報システム論」を開講(26) 「卒業演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業論文」は不該当のため、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」を担当(26) 新規担当(オムニバス講義)(26)
					兼任	講師	イデ マサキ 井手 雅哉 (47)	平成25年4月	Excelデータ解析	担当者変更(25) 専任教員の担当に変更(26)
専	准教授	ヤザワ ヒデアキ 矢澤 秀昭 (53)	平成25年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 中国語検定講座Ⅰ 中国語検定講座Ⅱ アジアビジネス実習	専	准教授	ヤザワ ヒデアキ 矢澤 秀昭 (54)	平成25年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 中国語検定講座Ⅰ 中国語検定講座Ⅱ アジアビジネス実習	アジアビジネス実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(25) アジアビジネス実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(26)
専	准教授	タカギ トモコ 高木 朋代 (天野 朋代) (45)	平成25年4月	経営学Ⅰ 経営学Ⅱ 経営組織論Ⅰ 経営組織論Ⅱ 人的資源管理Ⅰ 人的資源管理Ⅱ 地域企業経営実習 入門経営学 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文	専	教授	タカギ トモコ 高木 朋代 (天野 朋代) (46)	平成25年4月	経営学Ⅰ 経営学Ⅱ 経営組織論Ⅰ 経営組織論Ⅱ 人的資源管理Ⅰ 人的資源管理Ⅱ 地域企業経営実習 入門経営学 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	平成26年4月教授昇格(26) 地域企業経営実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(25) 地域企業経営実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(26) 専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒業演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文は対象学生が不該当のため、未開講(25) 卒業演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文は対象学生が不該当のため、未開講(26)
専	准教授	キシモト タイチ 岸本 太一 (34)	平成25年4月	中小企業論Ⅰ 中小企業論Ⅱ 経営戦略論Ⅰ 経営戦略論Ⅱ スポーツビジネス実習 入門経営学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文			後任未定			平成26年3月 岸本太一准教授辞任(一身上の都合)のため「後任未定」。平成26年4月から専任教員を公募し、平成27年4月付採用。「中小企業論Ⅰ・Ⅱ」「経営戦略論Ⅰ・Ⅱ」「卒業演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業論文」は兼任講師として担当。「スポーツビジネス実習」は3年生以上が対象のため、未開講。「入門経営学」「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「専門導入演習Ⅰ・Ⅱ」は他の専任教員による代替
					兼任	講師	キシモト タイチ 岸本 太一 (35)	平成25年4月	中小企業論Ⅰ 中小企業論Ⅱ 経営戦略論Ⅰ 経営戦略論Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文	平成26年度は兼任教員として、講義を一部担当(26)
専	講師	キム ジンシク 金 珍淑 (40)	平成25年4月	サービス産業論 流通情報論 マーケティングリサーチⅠ マーケティングリサーチⅡ アジアビジネス論 アジアビジネス実習 入門経営学 基礎演習Ⅰ	専	講師	キム ジンシク 金 珍淑 (41)	平成25年4月	サービス産業論 流通情報論 マーケティングリサーチⅠ マーケティングリサーチⅡ アジアビジネス論 アジアビジネス実習 入門経営学 専門導入演習Ⅰ	「マーケティングリサーチⅠ・Ⅱ」は平成26年度は畿内教授に担当者変更(26) アジアビジネス実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講

				基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文				専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文	(25) アジアビジネス実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(26) 基礎演習Ⅰ・Ⅱ、卒業演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文は対象学生が不該当のため、未開講(25) 基礎演習Ⅰ・Ⅱ、は他の専任教員による代替措置をとった(26)	
専	講師	ヒラヤ ノブヒロ 平屋 伸洋 (31)	平成25年4月	会計学Ⅰ 会計学Ⅱ 簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ 経営分析Ⅰ 経営分析Ⅱ 管理会計論 地域企業経営実習 入門経営学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	専	講師	ヒラヤ ノブヒロ 平屋 伸洋 (32)	平成25年4月	簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ 経営分析Ⅰ 経営分析Ⅱ 管理会計論 地域企業経営実習 入門経営学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 進路支援講座Ⅲ 進路支援講座Ⅳ 会計学Ⅰ 会計学Ⅱ	地域企業経営実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(25) 地域企業経営実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(26) 進路支援講座Ⅲは他の専任教員が担当(26)
					専	教授	スズキ アキオ 鈴木一明男 (72)	平成25年4月	会計学Ⅰ 会計学Ⅱ	会計学Ⅰ・Ⅱは、鈴木教授(平成25年4月付就任)が、平成25年度のみ担当(25) 平成26年度は専任教員が担当(26)平成26年3月 定年退職(26) 非常勤講師として採用
兼任	客員教授	タカハシ タカアキ 高橋 隆明 (58)	平成25年4月	地域企業会計論	兼任	客員教授	タカハシ タカアキ 高橋 隆明 (59)	平成25年4月	地域企業会計論	
兼任	講師	イシナベ ノブタカ 石鍋 信孝 (66)	平成25年4月	経営財務論	兼任	講師	イシナベ ノブタカ 石鍋 信孝 (67)	平成25年4月	経営財務論	
兼任	講師	イトウ タカコ 伊東 隆子 (64)	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	イトウ タカコ 伊東 隆子 (65)	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	
兼任	講師	イナバ ヒロミチ 稲葉 弘道 (65)	平成25年4月	統計学総論Ⅰ 統計学総論Ⅱ 経済統計Ⅰ 経済統計Ⅱ	兼任	講師	イナバ ヒロミチ 稲葉 弘道 (66)	平成25年4月	統計学総論Ⅰ 統計学総論Ⅱ 経済統計Ⅰ 経済統計Ⅱ	
兼任	講師	ウチノ ヤスコ 内野 泰子 (60)	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	ウチノ ヤスコ 内野 泰子 (61)	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	
兼任	講師	オクヤマ タカヤ 奥山 隆哉 (65)	平成25年4月	観光事業論Ⅰ 観光事業論Ⅱ	兼任	講師	オクヤマ タカヤ 奥山 隆哉 (66)	平成25年4月	観光事業論Ⅰ 観光事業論Ⅱ	
兼任	講師	カワニシ マサミ 川西 正己 (67)	平成25年4月	ベンチャービジネス論	兼任	講師	カワニシ マサミ 川西 正己 (68)	平成25年4月	ベンチャービジネス論	
兼任	講師	コウ レイカ 黄 麗華 (55)	平成25年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ	兼任	講師	コウ レイカ 黄 麗華 (56)	平成25年4月	中国語Ⅲ 中国語Ⅳ	
					兼任	講師	ヤマカケ スバル 山影 統 (35)	平成25年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	クラス数増加に伴い、担当教員の追加(25)
兼任	講師	サイキ カオリ 斉木 かおり (和 田 薫) (49)	平成25年4月	実践会話Ⅰ 実践会話Ⅱ	兼任	講師	サイキ カオリ 斉木 かおり (和 田 薫) (50)	平成25年4月	実践会話Ⅰ 実践会話Ⅱ	
兼任	講師	サワノ ミユキ 沢野 美由紀 (47)	平成25年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語検定講座Ⅰ 日本語検定講座Ⅱ	兼任	講師	サワノ ミユキ 沢野 美由紀 (48)	平成25年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語検定講座Ⅰ 日本語検定講座Ⅱ	日本語検定講座Ⅰは、受講希望者がいない為、未開講(25)。 「日本語検定講座Ⅰ・Ⅱ」は、担当コマ数の事情により担当者変更(26)
					兼任	講師	イイダ マキ 飯田 真己 (44)	平成26年4月	日本語検定講座Ⅰ 日本語検定講座Ⅱ	「日本語検定講座Ⅰ・Ⅱ」は、沢野講師の担当コマ数の事情により担当者変更(26)
兼任	講師	シバタ ヒロユキ 柴田 寛幸 (65)	平成25年4月	原価計算論Ⅰ 原価計算論Ⅱ	兼任	講師	シバタ ヒロユキ 柴田 寛幸 (66)	平成25年4月	原価計算論Ⅰ 原価計算論Ⅱ	
兼任	講師	シミズ マサミ 清水 麻実 (48)	平成25年4月	情報基礎Ⅰ 情報基礎Ⅱ	兼任	講師	シミズ マサミ 清水 麻実 (49)	平成25年4月	情報基礎Ⅰ 情報基礎Ⅱ	

兼任	講師	タカハシ ヨシヒロ 高橋 良裕 (47)	平成25年4月	労働法	兼任	講師	タカハシ ヨシヒロ 高橋 良裕 (48)	平成25年4月	労働法	
兼任	講師	タカヤナギ マリ 高柳 真理 (50)	平成25年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ			後任未定			平成25年3月、高柳真理講師辞任(一身上の都合)に伴い、平成25年度は、沢野美由紀、銅直信子講師による増担で対応(25)。 平成26年度は開講クラスを減らすことで対応したための(留学生入学者数減、後任の採用を見送った(26))
兼任	講師	タケイ ミチコ 武井 みち子 (67)	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	タケイ ミチコ 武井 みち子 (68)	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	
兼任	講師	ツカモト トシヒラ 塚本 利平 (49)	平成25年4月	簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ	兼任	講師	ツカモト トシヒラ 塚本 利平 (50)	平成25年4月	簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ	
兼任	講師	デン フミアキ 田 文揚 (60)	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ TOEIC®向上講座Ⅰ TOEIC®向上講座Ⅱ	兼任	講師	デン フミアキ 田 文揚 (61)	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ TOEIC®向上講座Ⅰ TOEIC®向上講座Ⅱ	
兼任	講師	ドウベタ ノブコ 銅直 信子 (66)	平成25年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ	兼任	講師	ドウベタ ノブコ 銅直 信子 (67)	平成25年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ	「日本語Ⅰ・Ⅱ」は開講クラスを減らしたため担当せず(26)
兼任	講師	ナガシマ ヨシエ 長島 芳枝 (52)	平成25年4月	国際経営論	兼任	講師	ナガシマ ヨシエ 長島 芳枝 (53)	平成25年4月	国際経営論	
兼任	講師	ナルトミ ケイコ 成富 慶子 (41)	平成25年4月	プレゼンテーション論 データベースオペレーション 情報基礎Ⅰ 情報基礎Ⅱ	兼任	講師	ナルトミ ケイコ 成富 慶子 (42)	平成25年4月	プレゼンテーション論 データベースオペレーション 情報基礎Ⅰ 情報基礎Ⅱ	
兼任	講師	ニノミヤ マサヤ 二宮 雅也 (35)	平成25年4月	スポーツ産業論 スポーツビジネス論	兼任	講師	ニノミヤ マサヤ 二宮 雅也 (36)	平成25年4月	スポーツ産業論 スポーツビジネス論	専任教員の担当に変更(26) 専任教員の担当
					専	准教授	タカオカ ヒデキ 高岡 英氣 (36)	平成26年4月	スポーツ産業論 スポーツビジネス論	
兼任	講師	ハマノ カズト 濱野 和人 (32)	平成25年4月	情報基礎Ⅰ 情報基礎Ⅱ	兼任	講師	ハマノ カズト 濱野 和人 (33)	平成25年4月	情報基礎Ⅰ 情報基礎Ⅱ	
兼任	講師	フルカワ ハルオ 古川 晴雄 (64)	平成25年4月	民法Ⅰ 民法Ⅱ	兼任	講師	フルカワ ハルオ 古川 晴雄 (65)	平成25年4月	民法Ⅰ 民法Ⅱ	
兼任	講師	マツフジ カズオ 松藤 和生 (51)	平成25年4月	地域ボランティア活動	兼任	講師	マツフジ カズオ 松藤 和生 (52)	平成25年4月	地域ボランティア活動	
兼任	講師	ミタムラ サトシ 三田村 智 (35)	平成25年4月	企業金融論Ⅰ 企業金融論Ⅱ	兼任	講師	ミタムラ サトシ 三田村 智 (36)	平成25年4月	企業金融論Ⅰ 企業金融論Ⅱ	
兼任	講師	シライ イズミ 白井 泉 (33)	平成25年4月	経営史Ⅰ 経営史Ⅱ 外国経営書講読Ⅰ 外国経営書講読Ⅱ	兼任	講師	シライ イズミ 白井 泉 (33)	平成25年4月	経営史Ⅰ 経営史Ⅱ	辞職に伴い担当者変更(26)
					専	准教授	キシモト タイチ 岸本 太一 (35)	平成25年4月	外国経営書講読Ⅰ	専任教員の担当に変更(25)
					専	講師	ヒラヤ ノブヒロ 平屋 伸洋 (32)	平成25年4月	外国経営書講読Ⅱ	専任教員の担当に変更(25) 他の専任教員に担当者変更(26)
					兼任	講師	サカモト ジュン 坂本 旬 (31)	平成26年4月	経営史Ⅰ 経営史Ⅱ 外国経営書講読Ⅰ	平成26年3月、白井泉講師辞任(一身上の都合)により、担当者変更(26)
兼任	講師	スズキ アキオ 鈴木 明男 (71)	平成25年4月	税務会計論Ⅰ 税務会計論Ⅱ	兼任	講師	スズキ アキオ 鈴木 明男 (72)	平成25年4月	簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ 税務会計論Ⅰ 税務会計論Ⅱ	クラス数の増加に伴い、担当教員の追加(25) 定年退職により非常勤講師として採用(26)
兼任	講師	モリシタ ヨシユキ 森下 嘉之 (34)	平成25年4月	総合科目Ⅰ※ 「国際社会を知る」	兼任	講師	モリシタ ヨシユキ 森下 嘉之 (35)	平成25年4月	総合科目Ⅰ※ 「国際社会を知る」	
兼任	講師	ヤマダ ノリヒコ 山田 紀彦 (40)	平成25年4月	総合科目Ⅰ※ 「国際社会を知る」	兼任	講師	ヤマダ ノリヒコ 山田 紀彦 (41)	平成25年4月	総合科目Ⅱ※ 「国際社会を知る」	総合科目ⅠからⅡに変更(25)
兼任	講師	ムン ホイル 文 浩一	平成25年4月	総合科目Ⅱ※	兼任	講師	ムン ホイル 文 浩一	平成25年4月	総合科目Ⅰ※	総合科目ⅡからⅠに変更(25)

		(46)		「国際社会を知る」		(47)		「国際社会を知る」	
兼任	講師	オダカ ヤスシ 小高 泰 (46)	平成25年4月	総合科目Ⅱ※ 「国際社会を知る」	兼任	コンダ リョウヘイ 近田 亮平 (42)	平成26年4月	総合科目Ⅱ※ 「国際社会を知る」	平成26年小高泰講師辞任（一身上の都合）により、担当者変更（26）
兼任	講師	タツミ ユキコ 巽 由樹子 (34)	平成25年4月	総合科目Ⅱ※ 「国際社会を知る」	兼任	ヨシムラ タカユキ 吉村 貴之 (45)	平成25年4月	総合科目Ⅱ※ 「国際社会を知る」	平成25年3月、巽由樹子講師辞任（一身上の都合）に伴い、吉村貴之講師に担当者変更（25）
兼任	講師	アオヤマ ヒロカズ 青山 博一 (62)	平成25年4月	地域企業経営論※	兼任	アオヤマ ヒロカズ 青山 博一 (63)	平成25年4月	地域企業経営論※	
兼任	講師	キタダ アツシ 北田 淳 (47)	平成25年4月	地域企業経営論※	兼任	キタダ アツシ 北田 淳 (48)	平成25年4月	地域企業経営論※	
兼任	講師	イワセ ユウゾウ 岩瀬 雄三 (50)	平成25年4月	地域企業経営論※	兼任	イワセ ユウゾウ 岩瀬 雄三 (51)	平成25年4月	地域企業経営論※	
兼任	講師	ワシミ トシアキ 鷺見 利昭 (49)	平成25年4月	地域企業経営論※	兼任	ワシミ トシアキ 鷺見 利昭 (50)	平成25年4月	地域企業経営論※	

< 共通 >

(1) 担当教員表

兼任	教授	ニガイラ コウイチ 仁平 耕一 (61)	平成25年4月	キャリア基礎開発Ⅰ キャリア基礎開発Ⅱ キャリア基礎開発Ⅲ キャリアデベロップメント キャリア教育特殊講義 地域企業経営論 キャリアプランニング 入門経済学※	兼任	ニガイラ コウイチ 仁平 耕一 (62)	平成25年4月	キャリア基礎開発Ⅰ キャリア基礎開発Ⅱ キャリア基礎開発Ⅲ キャリアデベロップメント キャリア教育特殊講義 地域企業経営論 キャリアプランニング 入門経済学※	
兼任	教授	ワダ リョウコ 和田 良子 (48)	平成25年4月	文章表現 口頭表現 基礎数学 入門経済学※ 敬天愛人講座※ マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ	兼任	ワダ リョウコ 和田 良子 (49)	平成25年4月	文章表現 口頭表現 基礎数学 入門経済学※ 敬天愛人講座※	担当者変更(オムニバス講義) (26)
					兼任	ニガイラ コウイチ 仁平 耕一 (62)	平成25年4月	マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ	平成25年度は、和田教授がミクロ経済学、仁平教授がマクロ経済学を担当を変更(25)
兼任	教授	コバヤシ タダシ 小林 忠 (64)	平成25年4月	プログラミング入門(VB) VBプログラミング 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 数学Ⅰ 数学Ⅱ	兼任	コバヤシ タダシ 小林 忠 (65)	平成25年4月	プログラミング入門(VB) VBプログラミング 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 数学Ⅰ 数学Ⅱ	
兼任	准教授	ババ マサヒロ 馬場 正弘 (50)	平成25年4月	日本経済論Ⅰ 日本経済論Ⅱ 経済政策Ⅰ 経済政策Ⅱ 入門経済学※	兼任	ババ マサヒロ 馬場 正弘 (51)	平成25年4月	日本経済論Ⅰ 日本経済論Ⅱ 経済政策Ⅰ 経済政策Ⅱ 入門経済学※	
兼任	教授	ドイ オサム 土井 修 (67)	平成25年4月	敬天愛人講座※	兼任	ドイ オサム 土井 修 (68)	平成25年4月	敬天愛人講座※ 入門経済学※	担当者変更(オムニバス講義) (26) 教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25)
兼任	教授	コヤマ ユキノブ 小山 幸伸 (49)	平成25年4月	入門経済学※	兼任	コヤマ ユキノブ 小山 幸伸 (50)	平成25年4月	入門経済学※ 敬天愛人講座※	新規担当(オムニバス講義) (26)
兼任	教授	マキノ トシシゲ 牧野 俊重 (70)	平成25年4月	入門経済学※	兼任	マキノ トシシゲ 牧野 俊重 (71)	平成25年4月	入門経済学※	
兼任	教授	カモガワ マスロウ 加茂川 益郎 (67)	平成25年4月	入門経済学※	兼任	カモガワ マスロウ 加茂川 益郎 (68)	平成25年4月	入門経済学※	
兼任	教授	オリハラ ユタカ 折原 裕 (61)	平成25年4月	入門経済学※	兼任	オリハラ ユタカ 折原 裕 (62)	平成25年4月	入門経済学※ 敬天愛人講座※	新規担当(オムニバス講義) (26)
兼任	教授	イイノ ユミコ 飯野 由美子 (58)	平成25年4月	入門経済学※	兼任	イイノ ユミコ 飯野 由美子 (59)	平成25年4月	入門経済学※	
兼任	准教授	ホシ マサミ 星 真実 (45)	平成25年4月	入門経済学※ 敬天愛人講座※	兼任	ホシ マサミ 星 真実 (46)	平成25年4月	入門経済学※ 敬天愛人講座※	平成25年4月付教授昇格(25) 担当者変更(オムニバス講義) (26)
兼任	准教授	カネコ リンタロウ 金子 林太郎 (35)	平成25年4月	入門経済学※	兼任	カネコ リンタロウ 金子 林太郎 (36)	平成25年4月	入門経済学※ 敬天愛人講座※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25) 担当者変更(オムニバス講義) (26)

兼任	講師	ソエダ トシミツ 添田 利光 (42)	平成25年4月	入門経済学※	兼任	講師	ソエダ トシミツ 添田 利光 (43)	平成25年4月	入門経済学※	
兼任	講師	ハガ タダヒコ 芳賀 理彦 (41)	平成25年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV	兼任	講師	ハガ タダヒコ 芳賀 理彦 (42)	平成25年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV	
兼任	教授	ナカムラ ケイゾウ 中村 圭三 (65)	平成25年4月	環境科学	兼任	教授	ナカムラ ケイゾウ 中村 圭三 (66)	平成25年4月	環境科学	
兼任	教授	カクショウ トヨカズ 覚正 豊和 (62)	平成25年4月	法学	兼任	教授	カクショウ トヨカズ 覚正 豊和 (63)	平成25年4月	法学	
兼任	教授	タカハシ カズコ 高橋 和子 (62)	平成25年4月	情報概論 敬愛プログラム	兼任	教授	タカハシ カズコ 高橋 和子 (63)	平成25年4月	情報概論 敬愛プログラム	
兼任	教授	ヤマモト タケン 山本 健 (61)	平成25年4月	歴史学	兼任	教授	ヤマモト タケン 山本 健 (62)	平成25年4月	歴史学	
兼任	教授	クシダ ヒサヨ 櫛田 久代 (46)	平成25年4月	日本の政治 政治学	兼任	教授	クシダ ヒサヨ 櫛田 久代 (47)	平成25年4月	日本の政治 政治学 敬天愛人講座※	新規担当(オムニバス講義) (26)
兼任	教授	イエチカ リョウコ 家近 亮子 (61)	平成25年4月	アジアの歴史と社会	兼任	教授	イエチカ リョウコ 家近 亮子 (62)	平成25年4月	アジアの歴史と社会 敬天愛人講座※	新規担当(オムニバス講義) (26)
兼任	教授	ミズグチ アキラ 水口 章 (59)	平成25年4月	総合科目 I 「国際社会を知る」	兼任	教授	ミズグチ アキラ 水口 章 (60)	平成25年4月	総合科目 I 「国際社会を知る」	
兼任	教授	サンベイ トシオ 三幣 利夫 (67)	平成25年4月	敬天愛人講座※	兼任	教授	サンベイ トシオ 三幣 利夫 (68)	平成25年4月	敬天愛人講座※	担当者変更(オムニバス講義) (26)
兼任	教授	イケヤ ミサコ 池谷 美佐子 (65)	平成25年4月	敬天愛人講座※	兼任	教授	イケヤ ミサコ 池谷 美佐子 (66)	平成25年4月	敬天愛人講座※	担当者変更(オムニバス講義) (26)
					兼任	教授	タカダ ヨウコ 高田 洋子 (61)	平成25年4月	敬天愛人講座※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25) 担当者変更(オムニバス講義) (26)
					兼任	准教授	ハタナカ チアキ 畑中 千晶 (44)	平成25年4月	敬天愛人講座※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25) 担当者変更(オムニバス講義) (26)
兼任	講師	アベ ヨウコ 阿部 容子 (36)	平成25年4月	国際貿易論			後任未定			平成25年3月、阿部容子講師辞任(一身上の都合)のため、平成25年4月より、後任教員を公募中。後期開講を予定(25)。
					兼任	教授	オリイ ケイスケ 織井 啓介 (57)	平成26年4月	国際貿易論	織井啓介教授(国際学部)の大学共通科目とする(26)
兼任	講師	キクチ マユミ 菊池 真弓 (42)	平成25年4月	社会学	兼任	講師	キクチ マユミ 菊池 真弓 (43)	平成25年4月	社会学	
兼任	講師	ノザワ モトヤス 野澤 基恭 (53)	平成25年4月	国際法 I 国際法 II	兼任	教授	ショウジ マリコ 庄司 真理子 (57)	平成25年4月	国際法 I 国際法 II	平成25年3月、野澤基恭講師辞任(一身上の都合)に伴い、庄司真理子教授(国際学部)の大学共通科目とする(25)
兼任	講師	ヤマウチ ヨシヒロ 山内 義廣 (67)	平成25年4月	憲法 I 憲法 II	兼任	教授	カクショウ トヨカズ 覚正 豊和 (63)	平成25年4月	憲法 I 憲法 II	平成25年3月、山内義廣講師辞任(一身上の都合)に伴い、覚正豊和教授(国際学部)を担当変更とする(25)
兼任	講師	ワタナベ ヨシツグ 渡辺 善次 (36)	平成25年4月	ミクロ経済学 I ミクロ経済学 II	兼任	教授	ワダ リョウコ 和田 良子 (49)	平成25年4月	ミクロ経済学 I ミクロ経済学 II	平成25年3月、渡辺善次講師辞任(一身上の都合)に伴い、和田良子教授(経済学部)を担当変更とする(25)
兼任	講師	カベヤ アキヨシ 壁谷 彰慶 (37)	平成25年4月	哲学	兼任	講師	カベヤ アキヨシ 壁谷 彰慶 (38)	平成25年4月	哲学	
					兼任	講師	ナガトロ マサユキ 長戸路 政行 (82)	平成25年4月	敬天愛人講座※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25)
					兼任	講師	タテノ ウケタ 館野 受男 (82)	平成25年4月	敬天愛人講座※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25)
					兼任	講師	カクタ アキラ 角田 勲 (70)	平成25年4月	敬天愛人講座※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25)

(注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
7	3	2	0	12	7	2	2	0	11	70	2
(7)	(3)	(2)	(0)	(12)	(0)	(△1)	(0)	(0)	(△1)	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	藤田 明男	一身上（健康上）の理由に伴う退職のため（平成25年3月31日付）（25）
2	教授	畢 滔滔	一身上の理由に伴う退職のため（平成25年3月31日付）（25）
3	准教授	岸本 太一	一身上の理由に伴う退職のため（平成26年3月31日付）（26）

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当初、就任を予定していた専任教員(教授)2名が急遽、一身上の都合で辞任することとなった。これを受け、平成26年4月付け採用を予定していた専任教員1名を平成25年4月付けで採用し、学生の修学指導を担保することとした。ただし、辞任した教員(2名)とは専門分野が異なり、特に、辞任した教員のうち1名は、1年次生の履修対象科目である「健康科学」「スポーツ教育」を専門としていた為、平成25年度は兼任教員での代替えを実施し、また、もう1名の教員の担当科目(流通・マーケティング)については、同分野を専門とする専任教員で対応することとした。平成26年4月採用に向け、3月中旬に公募教員の資格等を確認し、4月1日より公募を開始している。なお、現行1年次生が2年次生に進級した際に支障がでないように対応している。今回、届出設置をした経営学科1年次次の履修対象科目ではない為、この代替え措置により、学生の履修上の不利益は生じないと判断した。(25) 既存学科2年次以上については、年度当初の履修ガイダンスで開講科目に関する説明を行い、学生への周知を徹底した。

平成26年3月末日付で専任教員(准教授)1名が、一身上の都合で辞任することとなった。当該教員が担当していた科目のうち、「経営戦略論Ⅰ・Ⅱ」「中小企業論Ⅰ・Ⅱ」「卒業演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業論文」については平成26年度は引き続き、兼任講師として担当することで学生が修学上、不利益を被ることがないように対応した。また、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「専門導入演習Ⅰ・Ⅱ」「専門演習Ⅰ・Ⅱ」は平成26年度は他の専任教員に代替する措置をとった。なお、後任については平成27年度4月着任の方向で採用するべく、3月中旬に公募教員の資格等を確認し、すでに公募を開始している。今回、未開講科目は、開講対象学年（3年次）に在学生が到達していないことから、学生の履修上の不利益は生じないと判断した。在学生には履修ガイダンスで開講科目に関する説明を行い、周知を徹底した。(26)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成25年4月)	「該当なし」		「該当なし」
設置計画履行状況 調 査 時 (平成25年4月)	「該当なし」		「該当なし」
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年4月)	「該当なし」		「該当なし」
設置計画履行状況 調 査 時			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<経済学部 経営学科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため, 必修科目 (1 科目・2 単位) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため, 講義室, 自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに, 図書も〇〇冊増書した。
「該当なし」	「該当なし」

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

「敬愛大学FD委員会規程」（平成20年4月1日）を制定した。この規程に基づき、学長を中心とするFD委員会を設置した。

敬愛大学ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会規程 ・ ・ ・ ・ （規程の転載）

（目的）

第1条 この規程は、敬愛大学学則第2条第5項の規定に基づくFD活動を推進するために敬愛大学FD委員会（以下「委員会」という。）の運営等について定める。

（構成）

第2条 委員会は、次の委員をもって組織する。

- 一 学長
 - 二 各学部長
 - 三 教務部長
 - 四 各学部の教務委員長
 - 五 学長が委嘱する委員 若干名
- 2 委員長は学長とし、副委員長は学長が指名した委員をもって充てる。
- 3 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

（審議事項）

第3条 委員会は、各学部のFD活動が持続的に実施されるよう次の事項について審議する。

- 一 FD活動の企画立案に関する事項
- 二 FD活動の実施計画の立案に関する事項
- 三 FD活動の評価に関する事項
- 四 FD活動に関する情報収集と提供に関する事項
- 五 その他FD活動の推進に関する事項

（会議）

第4条 委員会の会議は、委員長が招集し、議長となる。

- 2 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を行う。
- 3 委員長が必要と認めた場合、委員以外の者を出席させることができる。
- 4 委員長は、委員の過半数をもって成立し、出席者の過半数により議決する。

（庶務）

第5条 委員会の庶務は、修学支援室が処理する。

（改廃）

第6条 この規程は、委員会の議を経て大学評議会の承認を要する。

附 則

- 1 この規程は、平成20年 4月 1日から施行する。
- 1 この規程は、平成21年11月 1日から施行する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- 第1回FD委員会（平成21年12月22日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長（学長補佐）、経済学部教務委員長、国際学部教務委員長
- 第2回FD委員会（平成22年 2月23日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長（学長補佐）、経済学部教務委員長、国際学部教務委員長
- 第3回FD委員会（平成22年3月30日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長（学長補佐）、経済学部教務委員長、国際学部教務委員長
- 第4回FD委員会（平成22年5月25日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長（学長補佐）、経済学部教務委員長、国際学部教務委員長
- 第5回FD委員会（平成22年9月21日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長（学長補佐）、経済学部教務委員長、国際学部教務委員長
- 第6回FD委員会（平成23年3月1日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長（学長補佐）、経済学部教務委員長、国際学部教務委員長
- 第7回FD委員会（平成23年5月24日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長、経済学部教務委員長、国際学部教務委員長
- 第8回FD委員会兼学園合同研修会（平成23年8月22日）
出席者：敬愛大学全教員、千葉敬愛短期大学全教員
- 第9回FD委員会（平成23年10月4日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長、経済学部教務委員長、国際学部教務委員長
- 第10回FD委員会（平成23年12月6日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長、経済学部教務委員長、国際学部教務委員長
- 第11回FD委員会（平成24年6月12日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長、学生部長、経済学部教務委員長、国際学部教務委員長、武内教授
- 第12回FD委員会（平成24年10月11日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長、学生部長、経済学部教務委員長、国際学部教務委員長、武内教授
- 第13回FD委員会（平成25年6月4日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長、学生部長、経済学部教務委員長、国際学部教務委員長、武内教授
- 第14回FD委員会（平成25年10月22日）
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長、学生部長、経済学部教務委員長、国際学部教務委員長、武内教授

- c 委員会の審議事項等
- ・第三者評価に関する事項
 - ・他大学のFD活動の研究に関する事項
 - ・平成23年度のFD活動に関する事項
 - ・学生による授業評価に関する事項
 - ・FD研修会に関する事項
 - ・その他、今後のFD活動の運営に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

1. 授業評価アンケート
 - ・学生による授業評価アンケートとして実施した。
 - ・昨年に引き続き、学生による授業アンケートを実施し、そのアンケートを基に担当者に授業改善を求めた。
2. 授業参観の実施
 - ・教員相互の授業参観を実施し、参観後に報告書の提出を義務付けている。
3. FD講演会
 - ・FD活動と大学の教育力向上について理解を深めるための啓蒙活動として実施した。
 - ・3.11の東日本大震災を教訓とした、大学の安全管理・危機管理能力向上についてについて理解を深めるために実施した。
 - ・国内外の動向や背景など大きな流れを踏まえた上で「大学改革実行プラン」の講演を基に大学の機能の再構築と大学ガバナンスの充実・強化の必要性の再確認のため実施した。
 - ・キャンパス内で認識の希薄さによるアカハラ、教育現場としての人間関係の特殊性に注目し、被害者と行為者の視点を再認識するために実施した。
4. FD研修会
 - ・初年次教育としての1年「基礎演習」のあり方について理解を深めるために実施した。
 - ・現代大学生の生活と意識調査を分析し、学生に対する理解を深めるために実施した。
 - ・昨年の分析を基に「敬愛大生の素顔」をテーマに本学学生の行動を理解するために実施した。
 - ・再度原点に戻り、「建学の精神(敬天愛人)」を全教職員に浸透させることを目的として実施した。
5. 学生満足度調査
 - ・学生による大学の生活実態調査をアンケート調査として実施した。
 - ・昨年に引き続き、学生による大学生の生活実態調査のアンケートを実施した。

b 実施方法

1. 授業評価アンケート
 - ・全教員(専任、非常勤)が実施することを原則とした。
 - ・演習・オムニバス・特別教育科目を除いて、開講科目すべてについて実施した。
 - ・学生の回答は無記名方式とし、授業評価アンケートが当該科目の評価に影響しないように配慮した。
2. FD講演会
 - ・濱名篤氏(関西国際大学学長・理事長)を講師として、全教職員に対して以下のテーマで講演を実施した。(平成22年6月29日)
テーマ:大学の教育力を高める者はいか — 関西国際大学初年次教育からの提言—
 - ・堀口瑞穂氏(SUPPORT 代表)を講師として、大学、短期大学の全教職員に対して以下のテーマで講演を実施した。(平成23年8月22日)
テーマ:私立学校の教職員がもつべき危機管理意識(東日本大震災を教訓として)
 - ・小林雅之氏(東京大学大学総合研究センター)を講師として、大学、短期大学の全教職員に対して「大学改革の動向と大学改革実行プラン」のテーマで講演を実施した。(平成24年8月21日)
 - ・北上眞理子氏(公益法人21世紀職業財団 常勤講師)を講師として、大学、短期大学の全教職員に対して「キャンパスにおけるハラスメント防止のために」のテーマで講演を実施した。(平成25年8月21日)
3. FD研修会
 - ・高田洋子(国際学部教授)、畑中千晶(国際学部准教授)を講師として、以下のテーマについて講演と事例報告を行い、初年次ゼミの重要性について周知を図った。(平成22年11月30日)
テーマ:初年次教育としての「1年基礎演習」をどう運営するか。
 - ・折原経済学部教務委員長、高橋国際学部教務委員長を講師として、以下のテーマについて講演と事例報告を行い、リメディアル教育の必要性を再認識した。(平成23年6月21日)
テーマ:リメディアル教育の現状と課題
 - ・武内 清(国際学部教授)を講師として、学生のアンケート集計を基に、以下のテーマについて講演と事例報告を行い、今後の大学のあり方について再考するものとする。(平成24年2月24日)
テーマ:現代大学生の生活と意識

- ・ 学内教員の調査取りまとめ基調報告（平成25年2月26日）
高橋 和子教授 「敬愛大学生の学生実態調査概要 ―日本人学生と留学生、学科の違いにも注目して―」
「授業満足度向上のために ―満足度を決めるものは？―」
藤井 輝男教授 「大学生の意識と満足度 ―学年の違いを中心に―」
武内 清教授 「敬愛大学学生調査から ―これからの大学教育を考える―」
田中 未央講師 「大学に対する学生の要望についての実態調査 ―KJ法用いた調査の試み―」
- ・ 「建学の精神に立ち返り」（平成25年2月26日）
千葉敬愛学園 学園長 長戸路 先生、長戸路学園 理事 角田 先生を講師に迎え
建学の精神(敬天愛人)の浸透を目的として実施した。

4. 学生満足度調査

- ・ ゼミの授業時間中、所属学生に対し無記名による大学満足度調査を実施し、FD研修会の検討資料とした。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. 授業評価アンケート

- ・ 両学部の全教員が該当科目についてアンケートを実施した。
- ・ 厳格に実施するため、アンケート回収直後に事務局に持参することを周知徹底した。

2. FD講演会・FD研修会

- ・ 全専任教員（出張、公務等で不在の者を除く）が参加した。
- ・ 窓口対応等で席を外せない者を除いて、多くの事務局職員も参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1. 授業評価アンケート

- ・ 学生の回答（選択式）、要望（記述式）を踏まえた「授業改善報告書」の提出を義務付ける。
- ・ 教員は、授業アンケートの実施、集計結果の確認、「授業改善報告書」の提出等通じて、次の評価に向けて授業の改善を図ることに努めている。

2. FD講演会・FD研修会

- ・ 初年次ゼミが初年次教育の中核であることを理解するとともに、初年次ゼミの内容および方法について教育（授業）実践を通じて継続的に研究、検討を重ねていくことの必要性を確認した。
- ・ 現代大学生の実態調査を通じて、今の学生気質を把握することにより中退抑止等学生指導の充実に努める。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 両学部の全教員が該当科目についてアンケートを実施した。
- ・ 厳格に実施するため、アンケート回収直後に事務局に持参することを周知徹底した。
- ・ アンケートの実施は、最終講義日に実施し、結果を集計し次年度以降の授業改善に繋がるようにした。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業開始に合わせ、アンケートの集計結果を全教員に配布し、併せて学内において全教職員が閲覧可能とした。
- ・ 図書館内に授業評価を集計した冊子を配架し、学生が閲覧可能とした。

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
学則第2条第3項の規定に基づき、教育・研究水準の向上と活性化を図る目的とし、これらを全学的な委員会、教育研究部会及び管理運営部会を通じて達成を図った。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
・平成27年4月 公開
- b 公表方法
・大学ホームページ上での公開
・私立大学協会加盟大学、千葉県内の大学及び近隣図書館等に各1冊を配布
- ③ 認証評価を受ける計画
・平成26年3月28日に大学基準協会へ提出した。
- (注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (2014年 10月 1日)